

光の回廊2012 —甦る古の記憶—

2012年9月15日～16日

光の回廊は、明日香村中がロウソクの優しい灯で包まれる毎年恒例の行事です。飛鳥資料館では今年、照明・映像・音響・ダンスを絡めた新たな演出を試みました。

会期の両日は、前庭で2,000個のロウソクに明かりが灯されました。さらに、資料館の建物は様々な色に変化するLEDによって鮮やかに彩られ、前庭の木々もライトアップされることで、飛鳥資料館が光の祭典の会場となりました。また、これまでに撮りためてきた、飛鳥の遺跡や奥飛鳥の自然等の美しい映像を会場で流し、資料館を包む心地よい音楽とあわせ、新たな飛鳥の空間を表現しました。

16日には、元格闘家の須藤元気さん率いるダンスユニット「WORLD ORDER」が出演しました。彼らのプロモーションビデオの撮影地には、世界の遺跡や歴史的建造物が選ばれる等、歴史との関わりが深いことが知られています。彼らのダンス・照明・映像が光の回廊とコラボレートし、前庭が幻想的な空間へと変貌を遂げました。16日の公演には1,500人以上の方にお越しいただき、公演後にはボランティアの両槻会とともにナイトミュージアムを館内でおこないました。終了後には、多くの方から飛鳥への興味、歴史・文化への理解の声、感謝の手紙等が寄せられ、光の回廊を通じて飛鳥の歴史や文化に親しんでいただけたと思っています。

当館は奈良文化財研究所の研究成果を公開するだけにとどまらず、今後とも幅広いお客様に、飛鳥に親しんでいただける場を創意工夫しながら作っていきたいと考えています。

(飛鳥資料館 成田 聖)



光の回廊2012の会場の様子